顛末書

△△部 □□課　山田太郎

【件名】交通事故に関する顛末書

**ポイント①事実関係の明確な記述**

【発生日】202X年9月20日

【概要・経緯】202X年9月20日午後3時頃、当社経理部の鈴木一郎が社用車を運転中、東京都中央区日本橋において追突事故を起こしてしまいました。鈴木は前方の車両が急停止したため、ブレーキを踏みましたが間に合わず、前方の車両に追突したとのことです。事故発生後、鈴木は直ちに警察および上長に連絡し、事故の報告を行いました。なお、この事故による怪我人はなく、双方の車両に損傷が生じた状態です。

【発生原因】今回の交通事故の原因を調査したところ、以下の点が判明いたしました。

1. 鈴木が、前方車両との車間距離を十分に保っていなかったこと。
2. 鈴木が、運転に集中しておらず、周囲の交通状況を適切に把握できていなかったこと。

**ポイント②根本的な原因にも言及**

1. 社用車運転者に対する安全運転教育が不十分であったこと。

【今後の対応、および再発防止策】

1. 相手方の車両所有者には、誠意を持って事故の解決にあたり、適切な補償を行う。
2. 鈴木には、厳重注意を行い、安全運転の重要性について再教育を実施する。
3. 全社的に交通安全セミナーを開催し、社用車運転者だけでなく、全社員の安全運転に対する意識向上を図る。

**ポイント③具体的な再発防止策の提示**

1. 社用車の運転前には、必ず点検を行い、車両の安全性を確認することを徹底する。
2. 社用車にドライブレコーダーを設置し、事故発生時の状況把握および安全運転の指導に活用する。

　今回の交通事故により、相手方の方々に多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。二度とこのような事態を発生させぬよう、全社一丸となって交通安全の徹底に取り組んでまいります。

2024年４月〇日

山田太郎